



庄原格致高校ソフトボール部顧問の今岡護教諭に代表入りを報告。今岡教諭は「高校生の時から、人の見ていない所で努力をしていた。今回、日本代表に選ばれたことが後輩たちの励みになる」と話す。

岡本さんは「努力しだいで、やればできることを実感しました。来年は教育実習で母校を訪れる予定なので、地元の子どもたちにこの経験を伝えていきたい」と故郷への想いを語る。



自慢の足を生かすため、「フライを上げないことを常に意識する」と話す。

庄原格致から 日本代表へ

クローズ
CLOSE UP
アップ
話題の人に迫る



岡本由香さん
(峰田町出身・大阪国際大学3年)

ユニバーシアードへ

本市出身の岡本由香さん（大阪国際大学3年）が、8月8日～18日まで、タイ・バンコクで開催される第24回ユニバーシアード競技大会のソフトボール日本代表選手に選ばれた。

この大会は、アメリカやオーストラリアなど10カ国が参加し、大学生の世界一を争う。

4月20日から3日間、静岡県伊豆市で行われた選考会に、全国各地から推薦を受けた41人が参加。外野手の岡本さんは身長155cmと小柄ながら、50mを6秒9で走る俊足を武器に切れのあるプレーが特徴。本番さながらの緊迫した雰囲気

の中で、「バットに当て転がせばなんとかなる」と紅白戦では高打率をマークするなど、選考委員に猛アピールした。

選考の結果、17人のメンバーが決定し、岡本さんも外野手枠4人の中に入った。代表の知らせを受け、岡本さんは「初めての選考会だったので、思い切りやることだけを考えていました。ユニバーシアード競技大会出場は大学での一番の目標だったのでうれしい」と笑顔で話す。

小学1年から野球を

小さい頃から足が速く、峰田小学校6年生で出場した県民体育大会の80mハドルで準優勝、庄原中学校

では陸上部に入り全国大会出場の経歴を持つ。また、小学校1年生から6年間、峰田少年野球チームに入部するなど、大の野球好き。庄原格致高校に入学後、本格的にソフトボールを始めた。「本当は野球がしたかった」という岡本さんだったが、「ソフトボールは塁間が短く、自慢の足が生かせる」とソフトボールの魅力に引き込まれた。1番・キャッチャーとして活躍するものの、高校での成績は県大会で1勝したことが最高だった。

ソフトボールを続けたいと大阪国際大学に進学。周りはスポーツ推薦で入部した部員がほとんどで、入学当時65人いた部員の中で与えられた背番号は65番だった。試合に出ることを目標に1年間努力を積み重ね、2年生でレギュラーの座をつかんだ。昨年の関西大学リーグ戦では打率5割4分2厘をマークし、最優秀打撃賞を獲得。国体にも大阪府代表として出場した。父・康樹さんは「俊足を生かすため、小さい頃からセーフティバントの練習は

かりさせていた。また、庄原中学校の陸上部で鍛えた経験が、現在のプレースタイルに生かされている。ソフトボールでは無名の庄原格致高校から日本代表にまで成長したことを評価してやりたい」と代表入りを喜ぶ。

王者アメリカに挑む

今後は、7月21日～24日の第2次国内強化合宿を経て、8月4日に日本を立ち、「決戦の地」タイ・バンコクへ乗り込む。日本は、昨年・一昨年と2年連続で3位。「今年こそ優勝を！」と王者アメリカに挑む。



6月8日の激励会で、滝口市長は「スポーツ振興に力を入れる庄原市にとって大きな誇りであり喜び。日本代表としての自信と誇りをもって力と技を発揮してください」とあいさつした。